

～日本橋再生計画～ 日本橋地域の情報発信を強化する取り組み

- ① 街のインフォメーションセンター「日本橋案内所」オープン（10月28日）
- ② フリーペーパー「日本橋ごよみ」創刊（10月20日）
- ③ WEBサイト「まち日本橋」リニューアル（10月20日）

■ 三井不動産株式会社は地元、行政と一体となって、「残しながら、蘇らせながら、創っていく」をコンセプトとした、地域の活性化と街に新たな魅力を創造する活動「日本橋再生計画」を推進しています。商業施設「COREDO（コレド）室町」「YUITO（ユイト）」をはじめとした新スポットの誕生や、来年の「日本橋」架橋100年を記念した船着き場の整備など、さまざまな地域活性化プロジェクトが推進される中、日本橋地域の情報発信を強化する取り組みを始めます。三越・高島屋などの百貨店や老舗店舗、街づくり組織などと連携し、日本橋地域の各種イベント、店舗情報、観光スポットなど幅広い情報を、インフォメーションセンター、フリーペーパー、WEBの3つの媒体で発信していきます。

① 「COREDO室町インフォメーション 日本橋案内所」10月28日オープン

日本橋地域の「街の案内所」としてコンシェルジュが常駐し、老舗店舗、観光スポット、街のイベントなどの情報をタイムリーに提供。また、日本橋の老舗商品が一堂に会する「老舗屋台」コーナー、カフェスペースも設置するなど、街めぐりの拠点としてご利用いただける施設です。

季節に応じたイベントなども予定。

※28日～31日はオープニング記念として、日本橋を代表する老舗の銘品が詰まった「日本橋福袋」を数量限定で販売。

COREDO室町インフォメーション



日本橋案内所イメージパース

② 日本橋地域のフリーペーパー「日本橋ごよみ」10月20日創刊

日本橋地域の情報誌として、街のイベント情報が一覧できるフリーペーパー。来街者をターゲットにした回遊ツールとなるほか、季節の話題や日本橋の逸品の紹介、老舗店舗へのインタビューなどを掲載します。

発行は毎月20日、部数は3万部を予定。

配布場所は日本橋案内所、三越、高島屋、YUITO、COREDO 日本橋ほか



日本橋ごよみ創刊号表紙

③ 日本橋地域のWEBサイト「まち日本橋」10月20日リニューアル

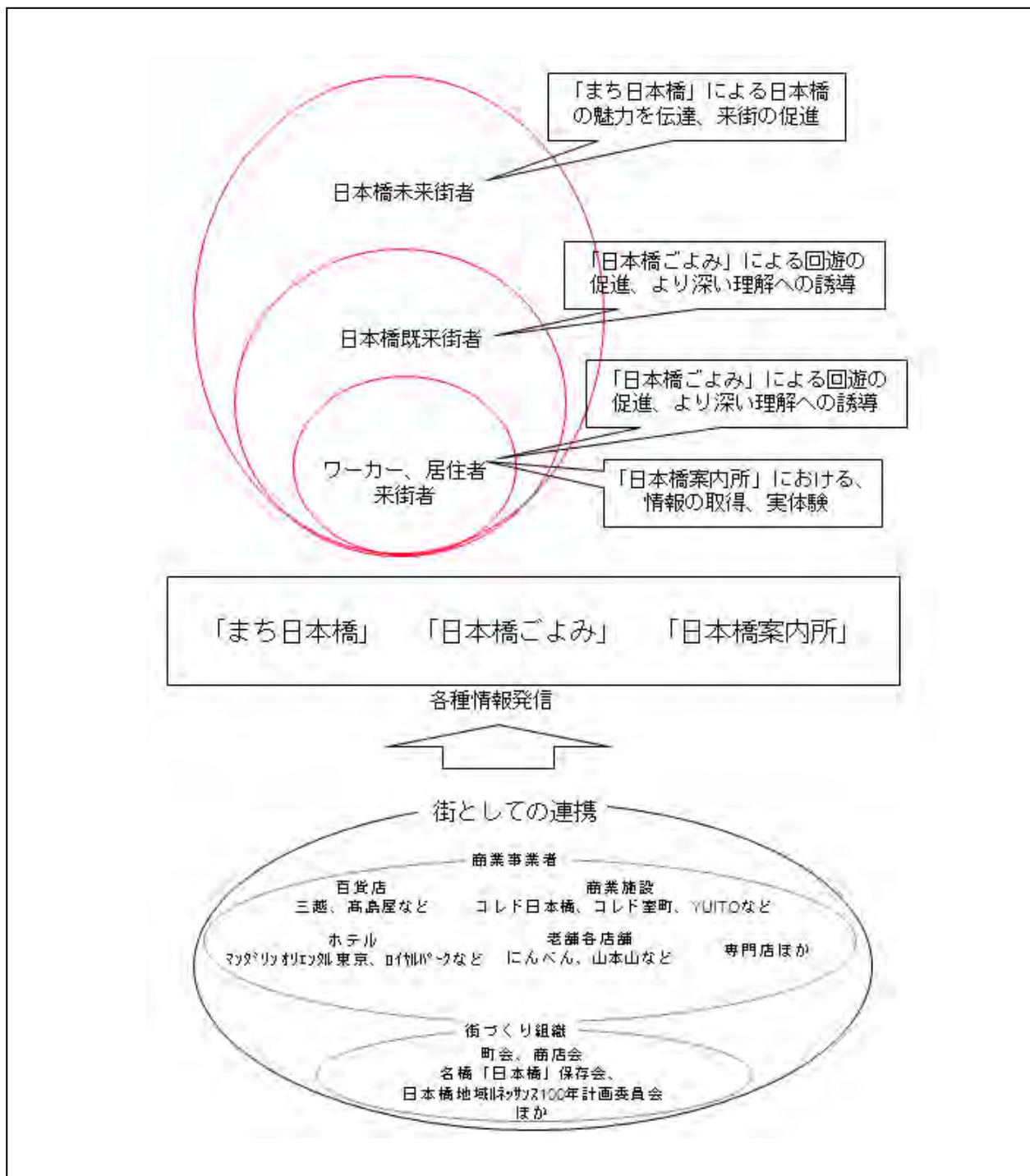
日本橋地域の来街者増加を目的に、当社は2005年よりWEBサイト「まち日本橋」を運営しており、今般、大規模なリニューアルを実施。街の魅力、歴史などの情報を拡充するとともに、Twitterを活用し老舗店舗のスタッフのリアルタイムな情報提供なども行ってまいります。

HP アドレス <http://www.nihonbashi-tokyo.jp/>

Twitter アカウト @machinihonbashi

- 日本橋は、四季に合わせて暮らす日本人の知恵、老舗の味、職人の技などが、今現在も受け継がれ、残っている地域です。当社は今回のような地域の情報発信の取り組みに加えて、日本橋地域の百貨店や老舗店舗、街づくり組織などとの連携を強化することにより、日本橋地域の活性化を目指してまいります。

日本橋地域の情報発信強化の3つの媒体のターゲットイメージ



- 添付資料 ① 「COREDO室町インフォメーション 日本橋案内所」 概要
 ② 「日本橋ごよみ」 概要
 ③ 「まち日本橋」 概要

<添付資料① 「COREDO室町インフォメーション 日本橋案内所」 概要>

■施設情報

- ・施設名 COREDO室町インフォメーション 日本橋案内所
- ・所在地 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号 COREDO室町 地下1階
- ・延床面積 約16.3坪(約53.8㎡)
- ・事業主体 三井不動産株式会社
- ・運営協力 株式会社スパート
- ・営業時間 平日・土日祝 11:00~20:00
- ・入場 無料
- ・定休日 元旦及び※COREDO室町の定休日に準じます。
- ・電話番号 03-3242-0010 ※10/28より開通
- ・アクセス 東京メトロ 銀座線・半蔵門線「三越前」駅直結
JR 総武線快速「新日本橋」駅直結(A6番出口)

■提供サービスほか

・日本橋地域インフォメーションの提供

“おもてなしの街・日本橋”の案内所として、コンシェルジュが常駐し街に広がる老舗店舗や観光スポット、イベントのご案内など、日本橋を訪れたお客様に街を楽しんでいただくための旬な情報をお届けします。

COREDO室町の総合案内として、各店舗のご案内はもちろん、日本橋三井ホールのイベントや各店のキャンペーン情報なども提供します。

・日本橋老舗屋台

日本橋の老舗・名店が一堂に会し、こだわりの逸品を販売します。ちょっと敷居の高い老舗の商品を手軽に屋台感覚でお楽しみいただけます。“老舗の伝統”“江戸の力”を感じさせる多彩な品々を取り揃えてお待ちしております。(出店店舗については次頁をご覧ください。)

・日本橋お休み処(客席数:12席)

街めぐりの合間の休憩や日本橋での待ち合わせなど、気軽にご利用いただけるカフェを展開します。

COREDO室町の飲食店舗の味が楽しめるお弁当をランチタイムを中心に数量限定で販売します。

このほか、COREDO室町各店や日本橋老舗・名店とのコラボ商品などの開発も予定しております。

・デジタルサイネージ

日本橋のWEBサイト「まち日本橋」やCOREDO室町の店舗情報をお届けする館内デジタルサイネージと連動した大型モニターを設置します。COREDO室町各店の“今だけ情報”を配信するTwitter機能を搭載するなど、鮮度の高い情報をタイムリーに提供していきます。

・各種イベント

日本橋のフリーペーパー「日本橋ごよみ」や日本橋のWEBサイト「まち日本橋」と連動し、日本橋エリアのコミュニケーション拠点として各種イベントなどの展開を予定しております。

■「日本橋老舗屋台」出店リスト

日本橋老舗 “食”の老舗(10店) ※50音順						
No	所在地	店名/社名	業種	創業	主な販売商品 (※季節により変更になる場合があります)	備考
1	小伝馬町	伊勢重 (いせじゅう)	すき焼き 特製和牛 牛佃煮	明治2年 (1869年)	①牛佃煮 S号曲 <1,360円> ②牛佃煮 2号折 <2,900円>	商品は全て小伝馬町の本店以外では販売をしていない希少なものです。(通販除く)
2	日本橋	榮太樓總本舗 (えいたろうそうほんぼ)	和菓子	安政4年 (1857年)	①日本橋・江戸老舗めぐりピーセン<892円> ②日本橋まんじゅう5個入(メープル味)<578円> ③榮太樓飴 東京名所在2缶入(梅ぼ志飴、黒飴)<735円>	①は榮太樓、にんべん、山本山のコラボピーセン
3	日本橋	国分 (こくぶん)	食品 K&Kブランド	正徳2年 (1712年)	①桐印日本橋漬(2本セット)<1260円>	日本橋漬の瓶2本セットで特製箱に入っています
4	室町	日本橋 貝新 (にほんばし かいしん)	佃煮	慶長元年 (1596年)	①特別ギフトセット<1,000円> ②6種類入りきんちゃく<1,500円> ③あさり佃煮 ④小柱佃煮	特別ギフトセットは、小柱紅梅煮・葉唐辛子・エビアラレ・生あみ・甘口あさりの5種入りセット(通常2100円の商品)を、数量限定で販売。
5	箱崎町	日本橋 古樹軒 (にほんばし こじゅけん)	ふかひれ 中華食材	昭和28年 (1953年)	①紅焼ふかひれ(ふかひれ小スープ)<525円> ②ふかひれ拉麺<1,050円> ③コラーゲン杏仁豆腐<630円> ④ふかひれカレー<630円>	「紅焼ふかひれ」は、本格的な中国料理の技法“紅焼(ホンシャオ)”を用い、ミニサイズのふかひれを上海風の餡仕立てにいたしました。
6	室町	日本橋 鮎佐 (にほんばし ふなざ)	佃煮	文久2年 (1862年)	①アサリラー油<630円> ②鰻具だくさんラー油和え<735円> ③佃煮小判(まぐろ・ふりかけ・あさり)<840円>	「鰻具だくさんラー油和え」は、「日本橋鮎佐」と「人形町志乃多寿司総本店」との共同企画商品。
7	室町	にんべん	鯉節	元禄12年 (1699年)	①かつおふりかけ ②本枯鯉節削り ③深川めしの素	
8	室町	八木長本店 (やぎちょうほんてん)	鯉節 乾物	元文2年 (1737年)	①八木長日本橋魚河岸焼き(いかの軟骨煎餅)<525円> ②八木長ぶっかけおおかか<315円> ③八木長椀だし(500ml)<725円>	“日本橋”の名前の入った商品を今回新しく販売します。 今の所他には出しておりません。
9	室町	山本海苔店 (やまもとのかてん)	海苔	嘉永2年 (1849年)	①日本橋本店限定 銘々焼海苔缶入<1,575円>※ ②日本橋本店限定 銘々味附海苔缶入<1,575円>※ ③堅焼き海苔せんべい<787円> ④海苔巻きせんべい<682円>	※①・②について「こちらの商品は山本海苔店本店限定商品につき11月末までの期間限定での特別販売となります。」 ③・④は日本橋菓房(国分)との共同開発商品
10	日本橋	山本山 (やまもとやま)	銘茶	元禄3年 (1690年)	①特撰深蒸煎茶 <1,050円> ②静岡掛川茶<1,050円> ③おすし屋さんのお茶<1,050円>	

日本橋老舗 “逸品”の老舗 (10店) ※50音順

No	所在地	店名/社名	業種	創業	主な販売商品 (※季節により変更になる場合があります)	備考
1	小舟町	伊場仙 (いばせん)	扇子・団扇	天正18年 (1590年)	①安藤広重、葛飾北斎の“日本橋”扇子 ②季節を楽しめる飾扇 ③スペイン×伊場仙コラボ扇子 VALEDO(バレド)	
2	大伝馬町	江戸屋 (えどや)	刷毛・ブラシ	享保3年 (1718年)	①ヘアブラシ H-3 特級黒豚毛<3,990円> ②ヘアブラシ H-3 特級白豚毛<3,990円> ③ヘアブラシ H-3 猪毛<3,150円> ④ヘアブラシ H-3 豚毛<3,150円> ⑤手植 洋服ブラシ 万能タイプ「別撰」<12,600円> ⑥洋服ブラシ エンジュ材 ウール専用<6,300円> ⑦洋服ブラシ エンジュ材 カシミア専用<6,300円>	
3	本町	小津和紙 (おずわし)	手漉き和紙	承応2年 (1653年)	①なぞり式写経セット<1,260円> ②小津オリジナル 小津撰 便箋<420円> ③小津オリジナル 小津撰 封筒<315円> ④小津オリジナル 小津撰 一筆箋<262円> ⑤踊りポチ袋 6枚セット<525円> ⑥日本橋和紙セット	日本橋和紙セットは、日本橋で漉いた和紙のセットです。
4	日本橋	黒江屋 (くろえや)	漆器	元禄2年 (1689年)	①日本はし(朱・黒セット) <2,520円> ②黒桜キャンディBOX <2,100円> ③朱桜キャンディBOX <2,100円>	黒江屋オリジナル商品
5	小網町	さるや	楊枝	宝永元年 (1704年)	①辻占楊枝(柄)<315円> ②お菓子楊枝(袋入り)<420円> ③振出し楊枝<630円> ④千両箱・小型<735円> ⑤大入り箱<735円> ⑥黒文字楊枝(束)<945円>	
6	小舟町	笠仙 (ちくせん)	江戸小紋 浴衣	天保13年 (1842年)	①日本手拭(2種類) <777円> ②干支手拭(6種類) <777円> ③木綿風呂敷(5種類) <2,625円>	①の日本手拭は、まとい、半纏の2種類
7	室町	日本橋 千歳 (にほんばしちとせ)	香文化	昭和34年 (1954年)	①香袋「日本橋」「室町」 ②練香「日本橋」 ③沈香	
8	日本橋	榛原 (はいばら)	和紙	文化3年 (1806年)	①蛇腹便箋レターセット <525円> ②夢二一筆箋(10種類) <525円> ③柴田是眞ハガキセット <630円> ④ポチ袋 榛原製(3種類) ⑤榛原千代紙カレンダー(2011年版)	①の蛇腹便箋レターセット“跳びうさぎ柄”は日本文具大賞デザイン部門優秀賞
9	東日本橋 浜町	港屋 (みなとや)	竹下夢二 専門画廊	大正3年 (1914年)	①風呂敷(シャンタン地) <600~2000円> ②文庫カバー <800円> ③タオル <500~800円> ④メモ帳 <300~500円>	
10	室町	有便堂 (ゆうべんどう)	書画材料 和風小物	大正元年 (1912年)	①便箋セット <1,050円> ②干支小物 ③ストラップ	

＜添付資料②「日本橋ごよみ」概要＞

■媒体資料

発行元：三井不動産株式会社
 発行日：毎月20日、年12回発行を予定
 形態：タブロイド版、4C8P（創刊号は12P）
 発行部数：30,000部（創刊号は約20万部）
 定価：無料
 配布場所：COREDO室町インフォメーション日本橋案内所、日本橋三越本店、高島屋東京店、COREDO日本橋、YUITO ほか
 問い合わせ先：amkユイマール「日本橋ごよみ」編集室
 東京都中央区日本橋小網町1-13-1304
 03-3664-7925
 広告出稿先：COREDO室町、日本橋三越本店、高島屋東京店、COREDO日本橋、YUITO

■創刊号内容

特集ページ 「ようこそ！日本橋へ」 日本橋名所案内
 創刊特別ページ 「日本橋室町に新しいランドマーク誕生」
 「まつりに彩られる秋の日本橋」
 ごよみマップイベントインフォメーション
 まちひとつころ～日本橋福德塾 にんべん 高津社長
 名店のおひるごはん 吉野鮎本店
 日本橋逸品図鑑 小津和紙
 ECOEDO日本橋 江戸の知恵に学ぶ、二四節気

※日本橋ごよみ ページイメージ



<添付資料③「まち日本橋」概要>

■サイト情報

内 容：日本橋地域の来街者増加を目的に 2005 年に当社が開設した地域情報 WEB サイト。日本橋地域の歴史や文化、イベントイベントなどを掲載。

運 営：三井不動産株式会社

URL：http://www.nihonbashi-tokyo.jp/

■リニューアルの概要

- ・フリーペーパーとのコンテンツ連動
- ・日本橋で開催されるイベントの告知
- ・日本橋再生計画をさらに詳しく掲載
- ・Twitter 機能の導入

サイト管理人のつぶやきによるエリア最新情報の提供、日本橋案内所に出品している老舗店店員のつぶやき、最新店舗情報などを提供

■トップページ

The screenshot shows the homepage of the 'Machi Nihonbashi' website. At the top, there's a navigation bar with the site name and utility links. The main banner features a large crowd at the 'TOKYO KIMONO WEEK 2010' event. Below this, the page is organized into several columns and sections:

- EVENT:** Two event listings. The first is 'TOKYO KIMONO WEEK 2010' (October 9-11), and the second is '第38回 日本橋・京橋よの太鼓流し' (October 9).
- PICKUP:** Two featured articles. '日本橋の歴史' (History of Nihonbashi) and '【お披露目】' (Official Debut).
- 街 (Street):** A vertical sidebar on the left containing various local information like '日本橋を愉しむ' (Enjoy Nihonbashi), '案内本所' (Information Center), and '日本橋ごまみ' (Nihonbashi Goma).
- 日本橋トピックス (Nihonbashi Topics):** A list of recent news items with dates and links, such as '日本橋東区地区開発10の第19期東区東三井ビルディング10月10日開業'.
- Footer:** Includes the '&EARTH' logo, '三井不動産' (Mitsui Fudosan) logo, and copyright information for 2010.